

「河川敷の保全と堤防天端・河川敷の利用について」

円卓会議(現地視察及び意見交換会)

12月7日 円卓会議開催後に寄せられたご意見

平成16年3月7日

氏名	中上 隆三	年齢	
住所	大阪府箕面市		
<p>自然破壊はダメ、自然は守るべきが正論であるかのように言われるが、その進め方に疑問が残る。</p> <p>自然はその住人が守り続けてきた結果であり、今日の姿がある。</p> <p>残された自然の周囲も 20 世紀には大半が自然であった筈である。そこに居住し、生活基盤を持つ人は自然破壊の共犯者である。自然破壊の共犯者が今日まで自然を守り続けてきた人に対し更に自然を守りつづけよと言うのは身勝手すぎる。</p> <p>自然の大切さは理解するが、まず自然破壊して建てた住居の一部を元の自然に戻すなど各自の生活拠点を中心に自然復元を行うのが自然保護の公正な進め方と思う。いたみも共有すべき。</p> <p>自分達のしたことを棚に上げて、自然破壊云々と言う資格はない。</p> <p>自然保護を唱える人に一考を促したい。</p>			